

令和2年春、すべての小学校でプログラミング教育が始まります！

今日、コンピュータは人々の生活の様々な場面で活用されています。家電や自動車をはじめ身近なものも多くにもコンピュータが内蔵され、人々の生活を便利で豊かなものにしていきます。誰にとっても、コンピュータなどの情報機器やサービスとそれによって得られる情報とを適切に選択・活用して問題を解決していくことが不可欠な社会が到来しつつあります。そのような中で、いよいよ小学校でプログラミング教育が始まります。

プログラミングって何？

コンピュータは人が命令を与えることによって動作します。この命令を「プログラム」、命令をつくることを「プログラミング」といいます。身近なものの中にも色々なところでプログラミングが使われています。

自動販売機のプログラム

- ①入れられた金額以下の商品のボタンを光らせる
- ②押されたボタンの商品を出す
- ③おつりを計算し払い戻す

※小学校では順序立てて物事を考える論理的思考「プログラミング思考」をはぐくみます。



こんなところにも…



どんなプログラムが
組まれているんだろう？

これからの時代を楽しく生きるために必要な力とは…

スマートフォンなどのインターネット接続機器とモノがつながることで、今後ますます多くの情報がネット上を飛び交うこととなります。次代を担う子どもたちには、プログラミング思考の育成とともに、インターネットの特性をより理解し、このような機器と上手に付き合い活用する能力が求められています。

コミュニケーションツールは、これからどんどん新しいモノが生まれます。でも、それを使うのは人であることは変わらないでしょう。使い手である人間の内面を磨くことが、いつの時代であっても必要です。特に次の3つの力を磨いていくことが大切です。

力が弱まると
こんな問題が…

個人情報流出
誘い出し など

自己抑制

ネット社会には危険がたくさんあります。危険から回避できるよう、これをしては大変なことになる、これ以上してはいけないなど自分をコントロールできる力をはぐくみましょう！

長時間使用
ゲーム課金 など

危険察知

子どもの方が知識・スキルを持っている場合があります。しかし、危険に関する知識は不足している場合があるので伝えていきましょう。

STOP!

人権意識

保護者がお手本を示し、自分と他人を大切にすることをはぐくみましょう！

ネットいじめ
誹謗中傷 など

情報活用能力の向上に向けて、安心できる環境を！

子どもとネットの関係 イイ関係？ 保護者にできる4つの備え

1

睡眠の時間と質の確保を！

生活リズムの安定が子どもの健康へとつながります。情報機器の長時間利用で睡眠時間が減ると、集中力もなくなり、心身の不調の原因になります。質のいい睡眠でしっかりと体力を回復できるようにすることが大切です。



2

子どものネット利用内容(スマホやゲーム)に興味を持とう

日頃からインターネットやスマートフォンに関する話題で子どもと話をしながら、よりよい付き合い方について一緒に考える習慣をつけましょう。そうした中で、今子どもが興味を持っていることや使用状況、家庭でのルールなど気軽に話せる環境を築いていけるといいですね。



3

大人がいいお手本に！

大人が子どもの手本となって、機械にコントロールされるのではなく、機械を自分の意思でコントロールしていきましょう。大人の姿、行動、言葉から子どもの「自己抑制」「人権意識」「危険察知」の力をはぐくまれます。まずは、大人がネットとイイ関係を目指してください。



4

ペアレンタルコントロールを設定しよう

保護者があらかじめパソコンやスマートフォンに設定を行い、成人コンテンツや有料課金、利用時間制限、写真撮影後のメール添付といったさまざまな機能の使用を制限できる「ペアレンタルコントロール」で安心・安全な環境を。※詳しくは次のページをご覧ください。



「4つの備え」実行のためにも家庭のルールづくりを！！

ネットとのちょうどいい距離、
見つけよう！
めざせ！！
ネットと私たちのイイ関係！

家庭のルール例 子どもと一緒にルールを考えよう！

- ネット(スマホ)をつかうのは 時間
- 場所は で使います
- 時以降は使わない
- 使わないときは にもどします
- 勉強、食事の時は使いません
- 名前、写真、住所、学校はネットにのせません
- 不安なことはすぐ に相談します
- ペアレンタルコントロールを設定します

参考：京都府PTA協議会「スマホ★ケータイ★ネット 親子のルール宣言！」

